

本校玄関の共同作品「つながる鴨島支援」について ～児童生徒の大谷焼陶板が校訓と共に～

昨年度、徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター様の「チャレンジドアートプロジェクト」の一環として、本校の児童生徒が徳島県の伝統文化である「大谷焼」に触れる「陶芸講座」の機会を設けていただきました。

6月20日（木）と9月19日（木）の二日間、大谷焼窯元「田村商事」代表の田村栄一郎様及び田村商事様スタッフの方々と、徳島県障がい者芸術文化活動支援センターの西木様に来校いただき、本校のふれあいホールで「陶芸講座」が開かれました。

児童生徒は個人作品と共同作品づくりに取り組み、本物の大谷焼の土に触れ、手でこね、板づくり等や、素焼き後の釉薬かけを体験することができました。また、訪問学級の児童生徒も、学級担任が家庭や病棟に材料を持参することで、本校児童生徒23名全員が、大谷焼「陶芸講座」に参加することができました。

児童生徒の個人作品と共同作品は、田村商事様の窯で大谷焼となり、12月末に納品されました。共同作品「つながる鴨島支援」は、21世紀館で開催された「第3回きらめきアート展」に出品後、本校の玄関に掲示されました。5月13日（木）現在、イメージキャラクター「かも先生」とともに、臨時休業が終了して、子どもたちに再会する日を心待ちにしています。



5月13日（水）の玄関ホール
かも先生もマスクをしています



共同作品「つながる鴨島支援」